

令和4年度 地域活性化活動助成事業活動概要

学校と地域を繋ぐ「出前あいさつ運動」

下関市立東部中学校

1 活動の概要

本校は、古くから歴史のある地区で、小月地区、清末地区、王司地区に分かれている。それぞれに小学校が置かれており、また、それぞれの地区に公民館が設置され、地区ごとに独自の取組を行っている。その3地区から入学してくる生徒は、お互い直ぐに打ち解け、1年生の1学期が終わる頃には小学校区関係なく学校内での各活動に取り組んでいる。

しかし、地域に目を向けてみると、この地区に古くから住んでいる家庭と、昨今の宅地開発により、新興住宅地として新たに住人となった家庭など、それぞれの地域で状況が大きく変化している。また、小学校区を中心とした地域活動は盛んであるが、中学校へ入学してからは、小学校区を越えてそれぞれの地域が手を携えた活動が無いため、小学校区単位での地域との繋がりはあっても、東部中校区全体の繋がりは希薄であるように感じている。

本校が地域との繋がりを図るにあたり、中学校としての課題は、3地区共通の取組を通して、東部中校区が一体となった活動を計画していく必要を感じた。そのためには、先ず中学生が率先して小学校区を越えた地域との関わりをもつことで、東部中校区全体の地域の活性化に繋げていきたいと考えた。

このことから、本校では、昨年度より生徒会を中心に「あいさつボランティア」を募り、小学校に出向いて「出前あいさつ運動」を実施してきたが、今年度はさらに地域との交流を図り、地域の活性化に繋げるため小学校区へ出向いた「出前あいさつ運動」の取組を行うこととした。

2 活動の状況

各学期に1回、全校生徒に「あいさつボランティア」を募り、それぞれ希望の実施場所に集合して、小学生や地域の人へ挨拶を行った。

1回目は5月17日に全校生徒の1/3にあたる約150名のボランティア生徒が各地域に出向いて「出前あいさつ運動」に参加した。



2回目は11月1日に約180名のボランティア生徒が参加し、「出前あいさつ運動」を実施した。

今回は、校区内3小学校だけでなく、校区内の駅前と中学校正門前を活動場所に加え、東部5地区まちづくり協議会や警察署、PTAにもご協力もいただき、校区をあげての運動となった。

また、3回目の「出前あいさつ運動」を2月1日に計画している。



3 活動の成果

各学期に1回の「出前あいさつ運動」へのボランティアを募ったところ、校内で多くの生徒が賛同し活動に参加した。

1回目は東部中学校の生徒のみの参加であったが、2回目以降は生徒とPTA役員の参加、またこの活動を各小学校区の地域学校協働活動推進委員にも周知したことで、「町づくり協議会」の方々にも参加していただくようになり、2回目は、地域をあげての活動となった。

今後は、ここ近年、生徒数が減少している小学校区もあり、中学生の活力を地域に生かすことで地域の活性化にも繋げていきたい。

また、地域の希薄になりつつある人との関係も、中学生のさわやかな挨拶の声で「つなぐ」役割を今後も担っていきたいと考えている。